

美し国「みえの伝統果実」選定品目 4品目

【かんきつ】市木オレンジ



特色

- 外見は夏みかんだが、実は濃いオレンジ色で、切って見ると意外性があります。
- 果汁が豊富で、酸味がなく、甘い。
- 半分に切って、スプーンですくって食べることができます。
- 出荷時期は1月から2月です。
- 出荷量 350kg（栽培面積は不明）

来歴・由来

福岡市郊外宇美町の小林鹿吉氏が、夏ミカンに温州を接ぎ、折損した接木部から発生したもの（小林みかん）が紀州地域に伝わったものといわれています。

50年以上前から、御浜町下市木地区を中心に「市木オレンジ」として栽培されています。紀南地域から外へ出て行った人などから、集荷事業者に「是非食べたい」と問い合わせがある地域の味です。

【梅】五ヶ所小梅



特色

- 真珠のような透明感のある果色で、「パール小梅」という愛称もあります。
- 小梅としては大粒で、果肉は厚いが肉質は軟らかく、梅干にすると皮がとろけるような食感となります。
- 5～6月の1ヶ月が収穫時期です。
- 栽培面積は1,200a、出荷量は26,500kg

来歴・由来

旧南勢町に樹齢200年程度といわれている小梅があり、果形と色合いが真珠のようだと「真珠小梅」とも呼ばれ、一部の人によって栽培が行われていました。

旧南勢町農協（現在、JA伊勢）で、みかに次ぐ特産物として、この小梅の産地作りを推進していました。本格的な経済栽培は、昭和53年に水田転換の地域特産品目として、旧南勢町農協が普及したことに始まります。

美し国「みえの伝統果実」選定品目 4品目

【柿】 蓮台寺



特色

- まろやかでとろけるような味ですが、実は渋柿です。
- 多角形でいろいろな形状があり、形に面白さがあります。
- 伊勢市の天然記念物に指定されています。
- 9月中旬から11月に収穫されています。
- 栽培面積2,438a、出荷量287,970kg

来歴・由来

伊勢市勢田町の南部山間地は鼓嶽山蓮台寺があったことに由来し蓮台寺と呼ばれていて、この地域の柿を「蓮台寺柿」と呼ぶようになりました。その昔、弘法大師がこの地を訪れた際、この柿を大変気に入り、この地で広く作るように進めたという逸話が伝わっています。

300年以上前から栽培されており、昭和33年に伊勢市の天然記念物に指定されました。

【柿】 前川次郎



特色

- 「前川次郎」というまるで人の名前のような柿です。
- 広く流通している次郎柿のもととなる品種です。
- こんもりとした丸く、溝がない形です。
- 10月中旬から11月下旬に収穫されます。
- 栽培面積3,140a、出荷量269,720kg
- 主な産地：多気町、玉城町、松阪市

来歴・由来

多気町の前川唯一氏によって、「次郎」柿の中でも早く熟する種として発見され、優良品種として広く栽培されるようになりました。

次郎柿は、愛知県や静岡県などでも広く栽培されていますが、これらは「前川次郎」に由来する品種といえます。